

令和2年度  
自己評価報告書の概要

令和3年5月20日

呉竹医療専門学校

# 目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1
基準1 教育理念・目的・育成人材像.....	2
基準2 学校運営.....	3
基準3 教育活動.....	4
基準4 学修成果.....	6
基準5 学生支援.....	7
基準6 教育環境.....	9
基準7 学生の募集と受入れ.....	10
基準8 財務.....	11
基準9 法令等の遵守.....	12
基準10 社会貢献・地域貢献.....	13

## 教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和3年度重点目標	達成計画・取組方法
<p><b>【教育理念】</b>            医の東西を問わず豊かな知識と技術を備え、全人的医療を施すことのできる医療人を育成すること。</p> <p><b>【教育目標】</b>            全人的医療を施すことができる医療人を育成するために、卒前・卒後を一貫した教育体系として捉え、教育施設並びに附設する医療施設を有機的に活用しながら、東西医療への理解を深めると同時に医療実践能力を修得する完結的教育を施していく。また、知識・技術の修得と併せて人格形成の教育にも力を注いでいくことを本校の教育目標とする。</p>	<p>教職員が一丸となって課題解決に取り組みながら、理念等の達成を目指す体制を強化するため、次の3点を本年度の重点目標として掲げる。</p> <p>(1) 担当教科の1コマ以上に能動的学習法（アクティブラーニング）を取り入れ、学生の学習意欲を継続させ、学習目標達成を促進する。            学生の主体的な学びの場を提供するため、能動的学習法を各科目に適宜取り入れる。当該授業は事前に作成したコマシラバスにそって実施するとともに、教員間の授業改善活動に活用する。</p> <p>(2) 入学定員 100%とともに卒業率 100%            卒業生や就職先企業等の協力を得ながらキャリア教育を進めて学生支援体制の充実を図り、学生の学習意欲を高めるとともに、学習支援講座も開催して学業不振に起因する中途退学者を減らし、卒業率の向上を目指す。また、外部臨床実習や就職支援活動を通じて、本校の教育方針等への理解を得ることによって、卒業生や業団体等の学校関係者を通じた学生の募集を促進する。</p> <p>(3) 上記の目標達成のため、業務内容の効率化を図り時間を確保する。            学籍管理システムの活用、既存手続及びインターネットの活用等により、業務内容の効率化を図る。</p>	<p>令和3年度の重点目標を達成するため、次の取組を行う。</p> <p>(1) 学習目標達成の取組            ① 令和2年度に作成したコマシラバスに沿って授業を行い、問題点や課題を把握し、授業の改善を図る。 ② 令和2年度に実施した授業のVODを教員相互に視聴し、授業内容の検討を行う。 ③ 学生に対する授業評価を実施して、能動的学習法を取り入れた授業の評価を確認し、シラバス及びコマシラバスの改善に反映させる。</p> <p>(2) 入学定員 100%とともに卒業率 100%            ① 入学後早い段階で外部臨床実習を実施することによって、学習意欲の向上、卒後の生活や将来設計に資する経験の機会を提供する。 ② 受け入れ先企業等と教員との交流を活発に行って、得られた情報を教育課程の編成や就職支援策に反映させることによって、業界のニーズに沿った人材の育成に活かす。 ③ 学業不振に起因する中途退学者を減らすために、特別授業や補習等による学習支援策を講じる。 ④ 志願者に対して、本校の教育理念、専門士授与方針等の説明及び上記①②の情報提供等を行うことに加えて、入学試験の内容の改定を行って、目的意識の高い志願者を受け入れる。</p> <p>(3) 業務内容の効率化            ① 学籍管理システムの更新に合わせて、教務と事務の情報共有を進めながら、手続きの簡素化を図る。 ② その他既存業務の手続きを見直して、決裁方法を簡素化することによって業務の効率化を図る。 ③ インターネットを活用した会議や通知を実施して、移動や印刷等の作業時間の削減を図る。</p>

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

### 【大項目総括】

理念・目的・育成人材像については、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

#### 1 理念・目的・育成人材像は、定められているか

ほぼ適切に対応しているが、理念等の浸透度を卒業時に確認したところ、例年とは異なり半数が理解していなかったことを課題とし、教務会を通じて原因の究明と対策を講じていくこととした。

#### 2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか

適切に対応している。

#### 3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか

適切に対応している。

#### 4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか

ほぼ適切に対応しているが、学校の将来像について非常勤講師への周知が不十分だった。例年、非常勤講師会を通じて周知を図ってきたがコロナ禍により当該行事を中止したため、事業計画書を配付するなど代替手段を講じて対応することとした。

### 【特記事項】

姉妹校や法人の組織として、法人事務局管轄の東洋医学臨床研究所、教育センター、教員養成科、Kuretake 塾などの施設を設置している他、令和元年度より新たに臨床教育研究センターを設置して、臨床教育の充実を図る取り組みを強化した。

## 基準 2 学校運営

### 【大項目総括】

学校運営については、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

#### 1 理念等に沿った運営方針を定めているか

適切に対応している。

#### 2 理念等を達成するための事業計画を定めているか

ほぼ適切に対応しているが、予算、事業目標等については、事業計画書に掲載している予算が一部に留まっているため、予算明細書の充実を図ること、事業計画の執行体制において、欠員補充を速やかに行うことや業務分担の見直しを速やかに行うこと、事業計画の執行管理については、教務会において重点目標を中心に進捗管理することとした。

#### 3 運営組織について

次の内容については、適切に対応してある。

(1) 設置法人は組織運営を適切に行っているか

(2) 学校運営のための組織を整備しているか

#### 4 人事・給与に関する制度を整備しているか

ほぼ適切に対応しているが、給与表の本格運用を実施することや人事評価制度の開始が遅れていることを課題としている。

5 意思決定システムを整備しているか

適切に対応している。

6 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか

ほぼ適切に対応しているが、学生に関する管理システムの更新を円滑に行うこと、情報システムを活用し適宜、意思決定を行うこと、適切に学生情報管理システムを活用することについて、業務効率を高めることを課題としている。

【特記事項】

呉竹メディカルクリニックは本校に附設されおり、本校の理念等の達成に欠かせない存在となっている。

## 基準3 教育活動

【大項目総括】

教育活動については、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

1 目標の設定について

次の内容については、適切に対応している。

(1) 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか

(2) 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか

2 教育方法・評価等について

(1) 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか

適切に対応している。

(2) 教育課程について外部の意見を反映しているか

適切に対応している。

(3) キャリア教育を実施しているか

ほぼ適切に対応しているが、意義・指導方法等に関する周知を徹底すること、キャリア教育の効果について卒業生・就職先等の意見聴取を充実させることを課題としている。

(4) 授業評価を実施しているか

ほぼ適切に対応しているが、授業評価結果を授業改善に活用しているか確実に確認することを課題としている。

### 3 成績評価・単位認定等について

次の内容について適切に対応している。

(1) 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか

(2) 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか

### 4 資格・免許の取得の指導體制について

次の内容について適切に対応している。

(1) 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか

(2) 資格・免許取得の指導体制はあるか

## 5 教員・教員組織について

(1) 資格・要件を備えた教員を確保しているか

ほぼ適切に対応しているが、職員の募集や昇格措置等について、規程を整備することを課題としている。

(2) 教員の資質向上への取組みを行っているか

ほぼ適切に対応しているが、教員の教授力の把握・評価については試行錯誤の段階としていること、教員の育成方針を明文化すること、関連業界等との連携による教員の研修・研究に参加する教員を増やすことなどを課題としている。

(3) 資格・要件を備えた教員を確保しているか

適切に対応している。

## 基準4 学修成果

### 【大項目総括】

学習成果については、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

1 就職率の向上が図られているか

ほぼ適切に対応しているが、12月時点の希望者の就職率が目標を下回ったことから、卒後の支援も含めて目標設定を行うことを課題とした。

## 2 資格・免許取得率の向上が図られているか

ほぼ適切に対応している。選択科目や特別講座などを受講したことが負担になって必須授業が疎かになった学生が見受けられたことから、教育課程編成・実施方針に沿って改めて実施科目を見直した。選択科目や特別講座については、引き続き提供科目について、参加学生の様子をみながら適宜見直すことを課題とした。

## 3 卒業生の社会的評価を把握しているか

ほぼ適切に対応しているが、学校が接触した企業が少なかったことから十分に意見を得られなかったことから、令和3年度には臨床実習協力企業等との意見交換会を実施することを課題とした。

# 基準5 学生支援

## 【大項目総括】

学生支援については、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

### 1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか

適切に対応している。

### 2 退学率の低減が図られているか

適切に対応している。

### 3 学生相談について

- (1) 学生相談に関する体制を整備しているか

適切に対応している。

- (2) 留学生に対する相談体制を整備しているか

留学生は在籍していないため、相談体制は整備していない。

### 4 学生生活について

次の内容について適切に対応している。課外活動については、感染防止策を講じながら徐々に平常化していくことを課題としている。

- (1) 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか

- (2) 学生の健康管理を行う体制を整備しているか

- (3) 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか

- (4) 課外活動に対する支援体制を整備しているか

### 5 保護者との連携体制を構築しているか

適切に対応している。

### 6 卒業生・社会人について

- (1) 卒業生への支援体制を整備しているか

適切に対応している。

(2) 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか

ほぼ適切に対応しているが、卒業生の参加を促す取り組みを合わせて実施することを課題としている。

(3) 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか

ほぼ適切に対応しているが、中高年の学生に対する就職支援策についてハローワークとの連携により対応していくことを課題としている。

#### 【特記事項】

就職支援においては、埼玉県産業労働部、埼玉キャリアサポートセンター及びハローワークの協力を得ながら学生指導に当たっている。

学生支援の一環として、公認心理士を週1回配置して、心理的な相談に対応している。

## 基準6 教育環境

#### 【大項目総括】

教育環境について、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか

適切に対応している。

2 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか

ほぼ適切に対応しているが、臨床実習先として、病院、介護施設の受入れ先の拡充を課題としている。

### 3 防災・安全管理について

#### (1) 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか

ほぼ適切に対応しているが、勤務シフトの状況に合わせて、消防計画を更新することを課題としている。

#### (2) 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか

ほぼ適切に対応しているが、学外実習先や実習の機会を増加させるため、学外実習の安全管理体制について、見直すこと課題としている。

## 基準 7 学生の募集と受入れ

### 【大項目総括】

学生の募集と受入について、以下の観点から自己評価を実施した結果、適切に対応していた。

#### 1 学生募集活動について

次の内容については、適切に対応している。

##### (1) 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか

##### (2) 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか

#### 2 入学選考について

次の内容については、適切に対応している。

##### (1) 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか

(2) 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか

### 3 学納金について

次の内容については、適切に対応している。

(1) 経費内容に対応し、学納金を算定しているか

(2) 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか

## 基準 8 財務

### 【大項目総括】

財務について、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

### 1 財務基盤について

次の内容については、適切に対応している。

(1) 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか

(2) 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか

### 2 予算・収支計画について

次の内容については、適切に対応している。

- (1) 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか
- (2) 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか
- 3 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか  
適切に対応している。
- 4 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか  
適切に対応している。

## 基準9 法令等の遵守

### 【大項目総括】

法令等の遵守について、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

- 1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか  
適切に対応している。
- 2 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか  
ほぼ適切に対応しているが、個人情報の保護について教職員に対する啓発機会の創出や大量の個人データを蓄積した記録の取扱に関する規程について、対応班を設けて課題の洗い出しや規程案を見直すことを課題としている。
- 3 学校評価について

学校評価については、以下の観点について概ね適切に対応しているが、実施体制については事務局の欠員により業務の偏りが生じたため、人員補充や業務の効率化により対応することを課題としている。

- (1) 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか
  - (2) 自己評価結果を公表しているか
  - (3) 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか
  - (4) 学校関係者評価結果を公表しているか
- 4 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか
- 適切に対応している。

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

### 【大項目総括】

社会貢献・地域貢献について、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

### 1 社会貢献・地域貢献

- (1) 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

ほぼ適切に対応しているが、コロナ禍により施設開放や協力予定の行事の中止など、実質的な活動が行えなかったことから、感染対策を行いながら平常化に向けた取り組みを行うことを課題とした。

(2) 国際交流に取り組んでいるか

国際交流については、海外研修生の受け入れなどの対応が十分でなく、コロナ禍の収束とともに本校学生の短期留学を実施するとともに、海外からの研修生の受け入れ態勢について検討することを課題としている。

2 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか

ほぼ適切に対応しているが、コロナ禍によりボランティア活動が中止となり、実質的な活動を実施していないため、感染防止策を徹底しながら徐々に平常化することを課題としている。

**【特記事項】**

学生が参加したボランティア活動については、課外活動として特待生選考時の評価に加えている。